

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課	■担当係	園芸畜産係
■評価事業名称	きたかみ牛消費拡大推進事業費補助金		
■事業開始年度	平成23年度		
■評価事業コード	050200 - 220	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興	
	■施策	01 農業の生産性向上	
■事業の種類	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	「きたかみ牛」の市内流通体制を整え、消費拡大へとつなげ、ブランド確立を図る。「きたかみ牛」の地産地消及び消費拡大に係る事業の実施		

2. 細事業の活動実績情報

細事業 コード	細事業 名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績
20	きたかみ牛消費拡大推進事業費補助金	畜産農家、飲食店・ホテル・旅館等店舗	・飲食店とのきたかみ牛キャンペーン実施 □いわてまるごと肉フェスタ参加	・飲食店とのきたかみ牛キャンペーン実施(参加 店舗、応募 件) □いわてまるごと肉フェスタ参加 □売販売 当日販売

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	1,000	400	400	509	
人件費	1,832	1,285		1,502	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,832	1,685	400	2,011	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
☐ A. 順調 ☒ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	イベントへの出店や飲食店への補助を行ったことにより、きたかみ牛の料理が来客にふるまわれ、PRに貢献した。また、生産者と加工業者をつなぎ、飲食店がきたかみ牛を販売する環境を作った。	きたかみ牛のさらなる普及拡大のために、飲食店やスーパー等への供給経路の研究・新規開拓が必要。
1. 直接的な受益者の範囲 ☐ 不特定多数に及ぶ ☒ 特定されるが多数に及ぶ ☐ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☐ 大きな不利益やリスクが生じる ☒ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☒ 類似の事業はない ☐ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☒ ニーズが高まっている ☐ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☐ 民間委託等の拡充は難しい ☒ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☐ 今以上の効率化や改善は難しい ☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)		■今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☐ IV. 廃止・休止 ☒ II. 継続 ☐ V. 完了 ☐ III. 縮小